

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルミナフレンズ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		~ 2025年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		~ 2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性に応じたプログラムを立案し、専門性のある個別療育と集団療育が実施されていること	・スタッフは保育士、児童指導員で構成されているが、社内研修や日々の療育の振り返りを行うことで、専門的視点を持って子どもの姿を捉え、遊びの中で成長できるプログラムを作っている。	・現在行っている外部講師(OT、ST)による社内研修だけでなく、スタッフ間で学びを深められるような勉強会の実施を検討し、スタッフの質の向上を図る。 ・今後新しいスタッフが入職した際を想定し、OJTの内容を再検討し、実践と知識を統合できる研修内容を作っていく、スタッフの専門性を高める。
2	・保護者に寄り添った支援が日々行われていること	・個別療育、集団療育それぞれフィードバックの時間を十分に確保することで、保護者が日ごろの悩みや心配していることを話せるようになっている。 ・保護者が安心感を得られるように、スタッフは常に共感性を持って保護者を扱い、ともに悩みを共有する立場として関わっている。 ・保護者へのモニタリングで出た内容や課題点を個別支援計画書に盛り込み、スタッフ間で共有することで、子どもと保護者のニーズに沿った支援ができています。	・日々の悩みだけでなく進路(就園や就学)についての相談などに対応できるよう、制度や知識を予め持つておく。 ・必要な場合には、事業所内相談の時間を利用することを提案し、保護者支援の充実を目指す。
3	・子どもが安心して、通所を楽しみにしていること	・ルミナフレンズの目指す療育である『楽しく遊んで『できた!』がいっぱいになって、みんなの笑顔があふれる施設』を達成するため、訓練ではなく遊びの中で子どもの成長を促す療育を行っている。 ・子どもの好きなことや得意なことを活かしつつ、成長を促すプログラムが組まれているため、子どもが達成感を得やすいと思われる。	・見学に来られるご家庭や緊張の高い子どもに対しても、ルミナフレンズの療育を受けて安心感を持てるよう、意識していく。 ・ルミナフレンズの利用が終了した際に、次のサービスへ向かう際の不安や相談ができればと声が上がっているため、終了後も安心して次のステージに送り出せるような支援を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域に開けた事業の展開(地域交流や幼稚園、保育園との交流)	・開所当初は施設を地域の方に開放する「あそびば」の事業を行っていたが、新型コロナウイルスの流行や、あそびばを利用する方の管理システムの不十分さから、事業を停止している。	・地域交流の事業を行う場合は、どこまでの範囲で何をするかをスタッフ間で検討し、企画を上げていく。 ・他事業所等の地域交流事業についても情報を収集し、共催や参加をしていけるかを検討する。
2	・保護者会、きょうだい児同士の交流の機会	・昨年度は「ルミナカフェ」という集団療育を利用している保護者向けに、茶話会を開催していた。 今年度は、集団療育に参加する子どもや保護者の状況に合わせたテーマを組むのではなく、個々への相談に重点を置いた為、実施していない。 ・きょうだい児も参加できる「おまつり」を毎年企画しているが、運動療育のみの実施にとどまっている。	・保護者からの具体的なニーズを聞き取りし、保護者会や交流会の企画を検討する。 また、これまで実施していなかった個別療育を利用する保護者やきょうだい児を対象とした交流事業が可能かどうかを検討していく。
3	・非常時の避難訓練や、事故防止マニュアル等の周知不足	・災害を対象とした避難訓練(地震、火災、水害)は、ステップクラスでの実施が主となっている。また、今年度は保護者参加型の避難訓練(地震についての勉強会)を行った。避難訓練の報告は、ルミナフレンズ通信に記載しているが、部分的な情報のみとなっている。 ・事故防止、感染症防止等の各種マニュアルについては、玄関先のラックにファイルを置き、保護者が閲覧できる形をとっているが、送り迎えの短い時間で目を通すことが困難と思われる。	・避難訓練の様子をHagの活動機能を使って、いつでも見られるような形をとる。また、訓練を実施する範囲として、個別療育を利用している児童も参加ができるよう、検討企画していく。 ・マニュアルの内容を保護者に説明したうえで、詳しい内容がファイルに格納されていることを周知していく。